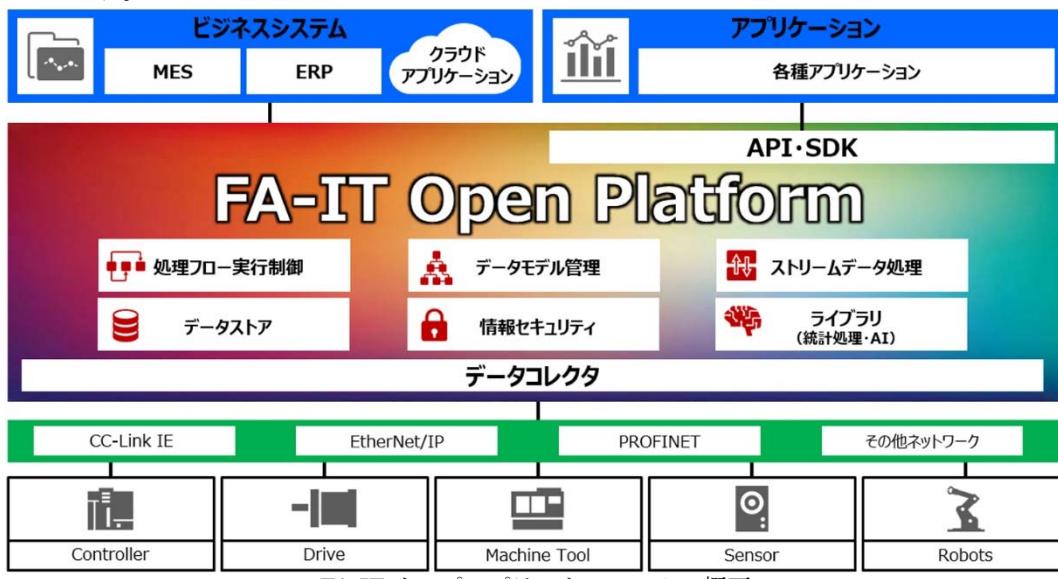


NEWS RELEASE

 製造業のスマート化を実現する IoT 活用を支援
製造業向け FA-IT オープンプラットフォームの新提案

三菱電機株式会社は、製造業のスマート化を実現する IoT 活用を支援するため、エッジ領域の FA-IT オープンプラットフォームを新たに提案します。生産現場（FA システム）とバリューチェーン（IT システム）を容易につなぎ、生産現場のデータの収集・分析・改善のシステムを短期間で構築できます。



FA-IT オープンプラットフォームの概要

FA-IT オープンプラットフォームの特長

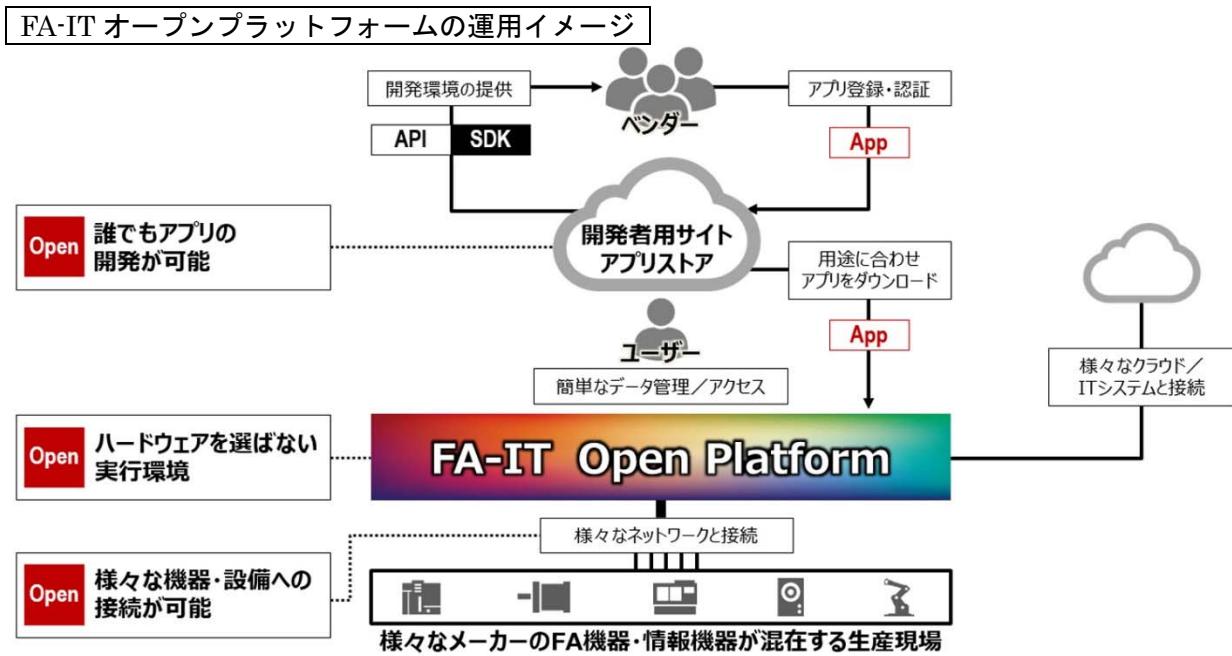
1. 自由なアプリケーションの開発と多種多様な機器・生産設備への接続を実現
 - ・ベンダーが開発者用サイトから自由に開発環境をダウンロードし、プラットフォーム上で動作するユーザー向けアプリケーションを開発可能
 - ・様々な産業用ネットワークへ接続できるソフトウェアを開発することにより、あらゆる機器・生産設備からのデータ収集が可能
 - ・将来的にはアピリストアによるダウンロードサービスを検討
2. 生産現場のデータモデルを容易に構築
 - ・プログラミングなどの専門知識がなくても、Industrie4.0 管理シェル※1 が提唱する装置モデルの設計・管理やデータアクセスが可能
 - ・分析に必要なデータを簡単に選択でき、効率的なデータ分析を実現

※1：工場の装置の設計・運用・保守に関する様々な情報を構造化して管理する仕組み
3. 様々なクラウド・IT システムへの接続を実現
 - ・ベンダーが持つ様々なクラウド・IT システムを活用したユーザー向けサービスと生産現場を接続
 - ・グローバルに点在する自社複数工場の一元管理やサプライチェーンを含めた管理などで全体最適を実現

今後の展開

今後は、プラットフォームを早期にお客様へ提供できるよう、開発を加速するとともに、IT ベンダーをはじめとした協力企業各社と連携し、プラットフォームを活用したアプリケーションの開発も進めます。また、他の企業との連携により、プラットフォーム上でより多くの機器・生産設備との接続や、セキュリティや人工知能（AI）の適用なども検討します。

なお、当社が推進する e-F@ctory（イーファクトリー）においても、プラットフォームを活用し、さらなるソリューション展開をしていきます。



FA-IT オープンプラットフォーム提案の背景

近年、IT・情報インフラの進化に伴い、製造業を取り巻く環境が複雑化している中、IoT活用により工場のあらゆる設備からデータを収集して分析・改善するシステムを構築し、ものづくり全体を最適化するニーズが高まっています。しかし、IoTシステムの構築には、既存設備を含む多種多様な生産設備からのデータ収集と、収集したデータを分析しやすいようにモデル化することに多くの労力を要しています。

当社は今回、これらの課題を解決するために、オープンなエッジ領域のソフトウェア・プラットフォームを提案します。

e-F@ctory（イーファクトリー）について

当社は、卓越した技術と幅広いFA製品のラインアップにより、長年にわたり製造業の自動化の発展を支えてきました。こうした技術を基に、FA技術とIT技術を活用し、開発・生産・保守の全般にわたるトータルコストを削減するFA統合ソリューション「e-F@ctory」を提倡し、e-F@ctory Allianceパートナーと共に、お客様の課題解決に向けたトータルソリューションを提供します。

商標関連

「e-F@ctory」は当社の登録商標です。

EtherNet/IPはODVAの商標です。

PROFINETはPROFIBUS Nutzerorganisation e.V.の登録商標です。

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 FAシステム事業本部 e-F@ctory戦略プロジェクトグループ

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号

TEL 03-3218-6479 FAX 03-3218-6819